

オリックス株式会社

2018年3月期第2四半期 決算説明資料

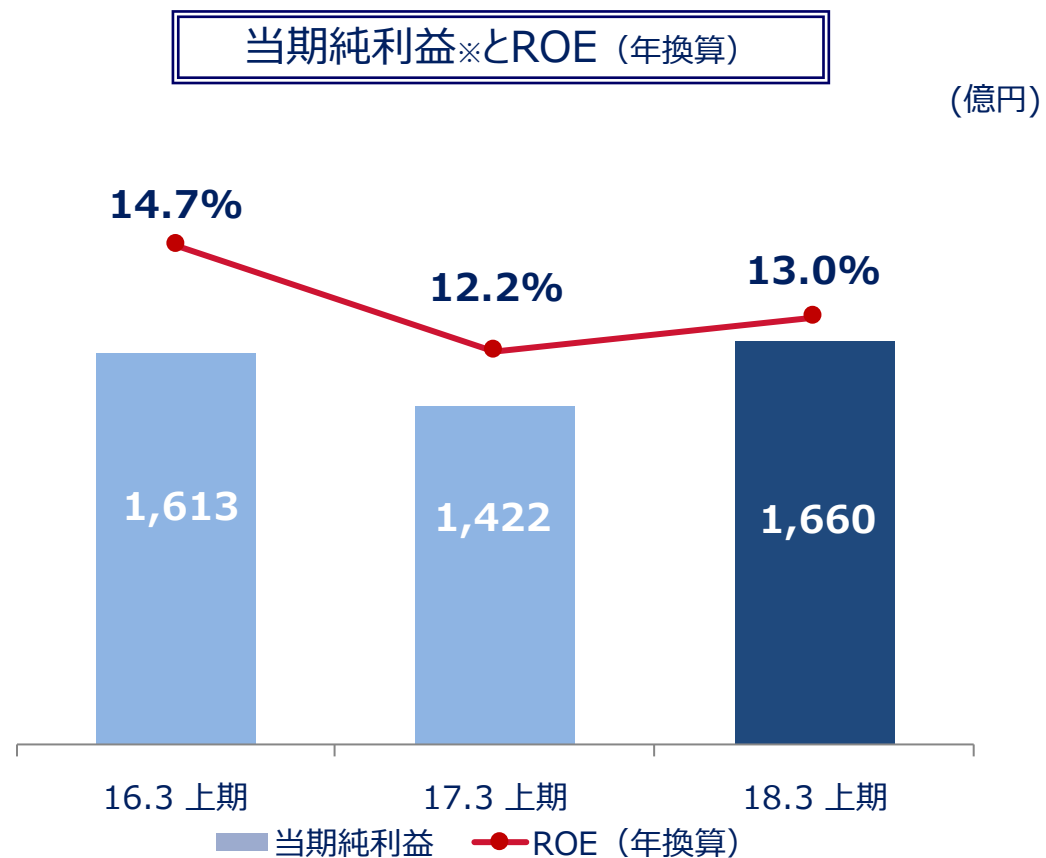
グループCEO 井上 亮

グループCFO 小島 一雄

2017年10月31日

業績総括（1）

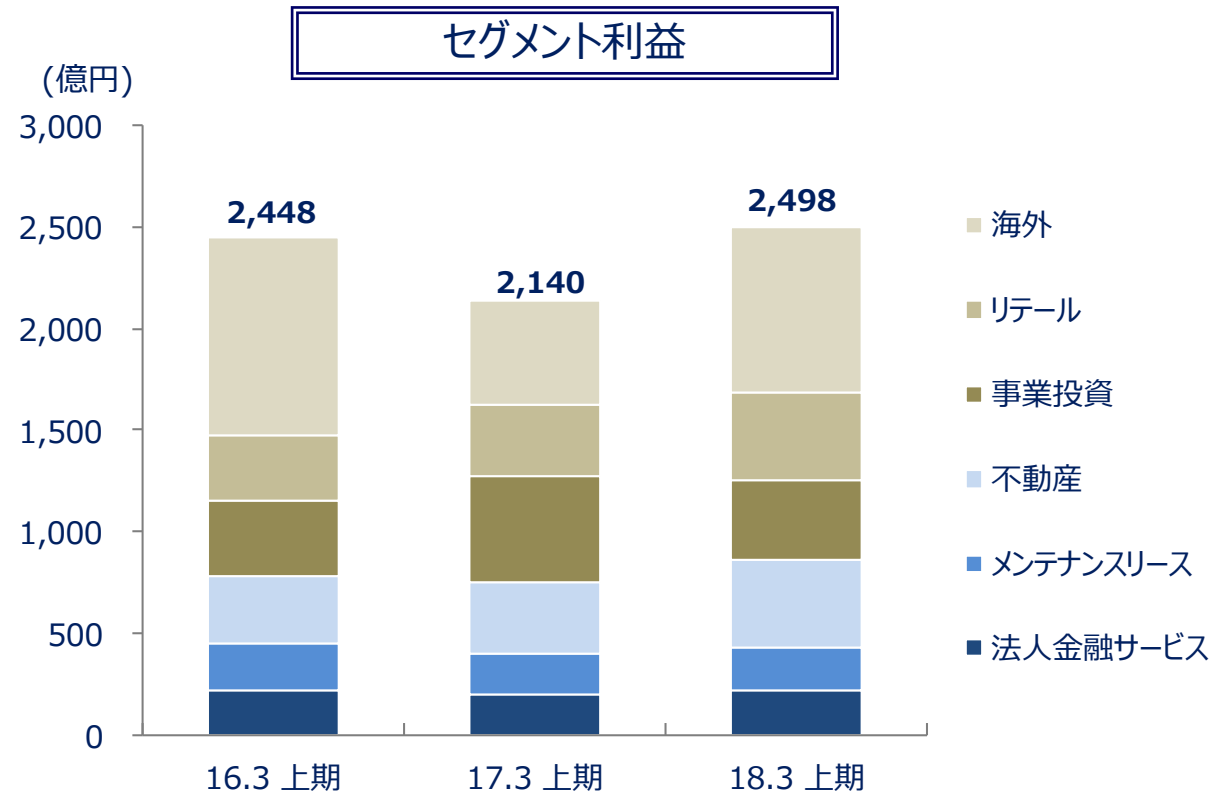
- ✓ 当期純利益は 1,660億円（前年同期比17%増）
- ✓ ROE（年換算）は13.0%



※「当期純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」を指します。

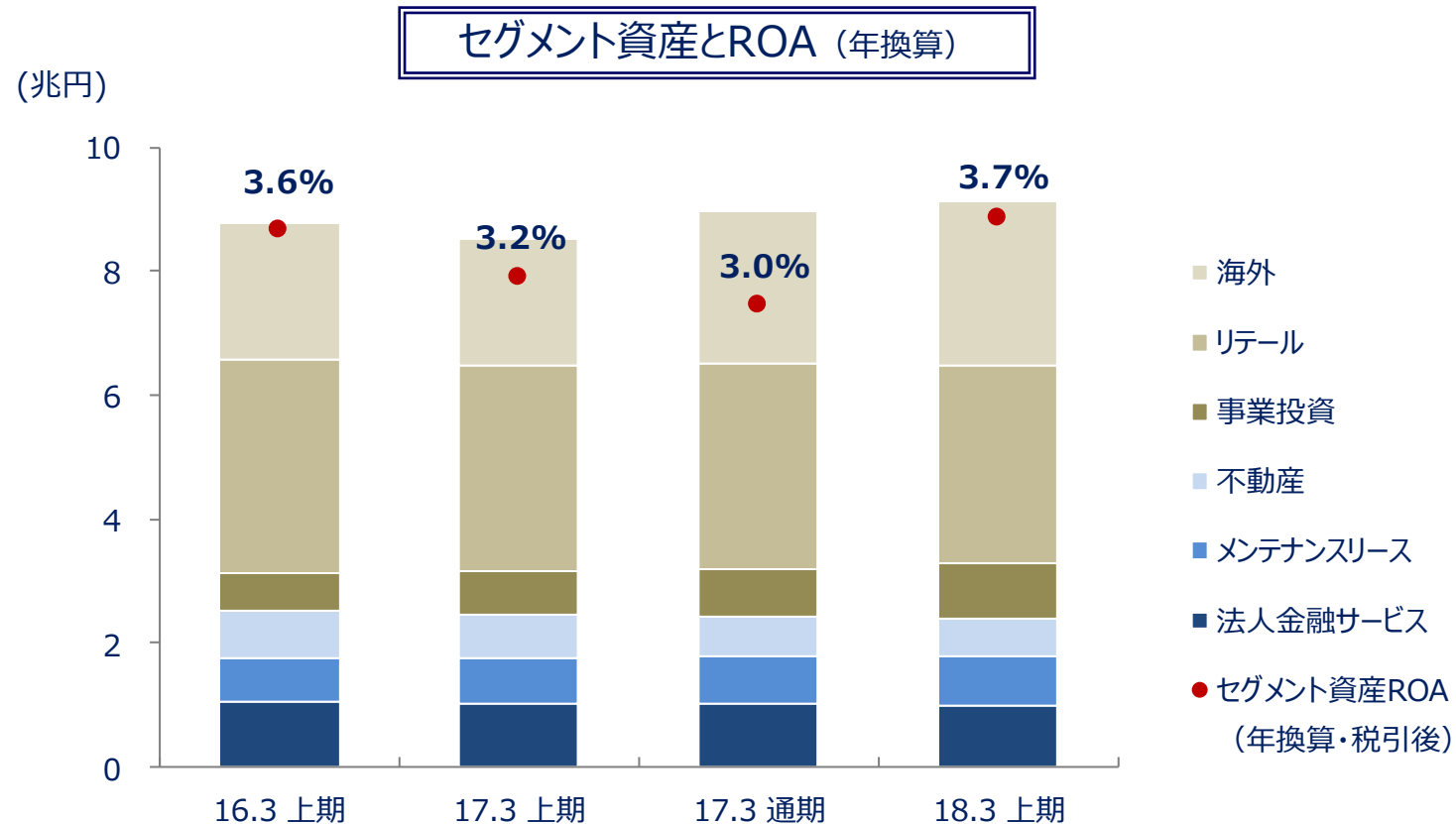
業績総括（2）

- ✓ セグメント利益合計は2,498億円（前年同期比17%増）
- ✓ 海外・不動産・リテールで大幅な増益、法人金融・メンテナンスリースも堅調
- ✓ 事業投資は、前年同期に国内PE投資のExitによる売却益を計上



業績総括 (3)

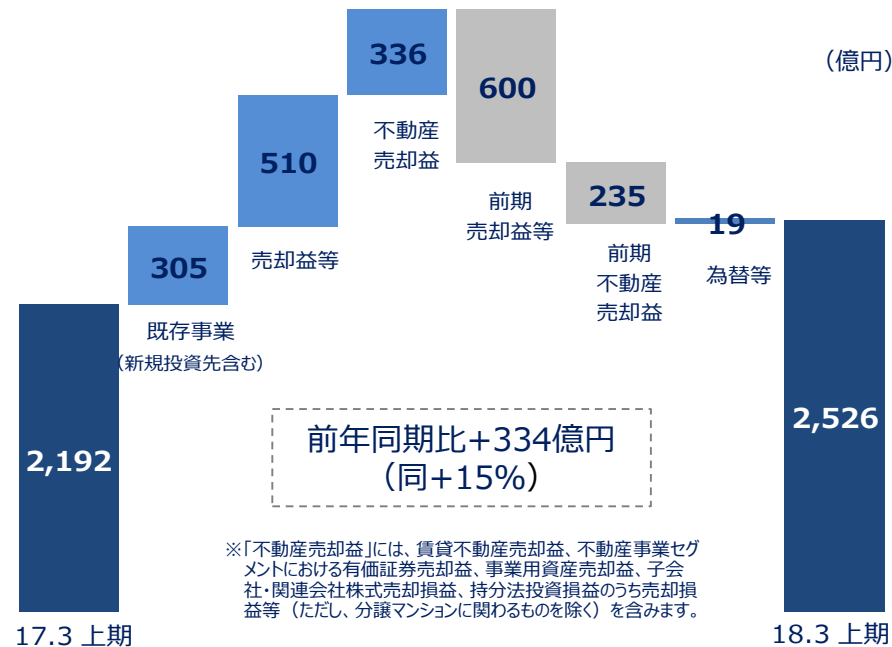
- ✓ セグメント資産は9兆1,162億円（前期末比2%増）
- ✓ 海外、事業投資、メンテナンスリースセグメントで資産が増加
- ✓ リテールは、オリックス生命の債券売却と旧ハートフォード生命のランオフ資産が減少



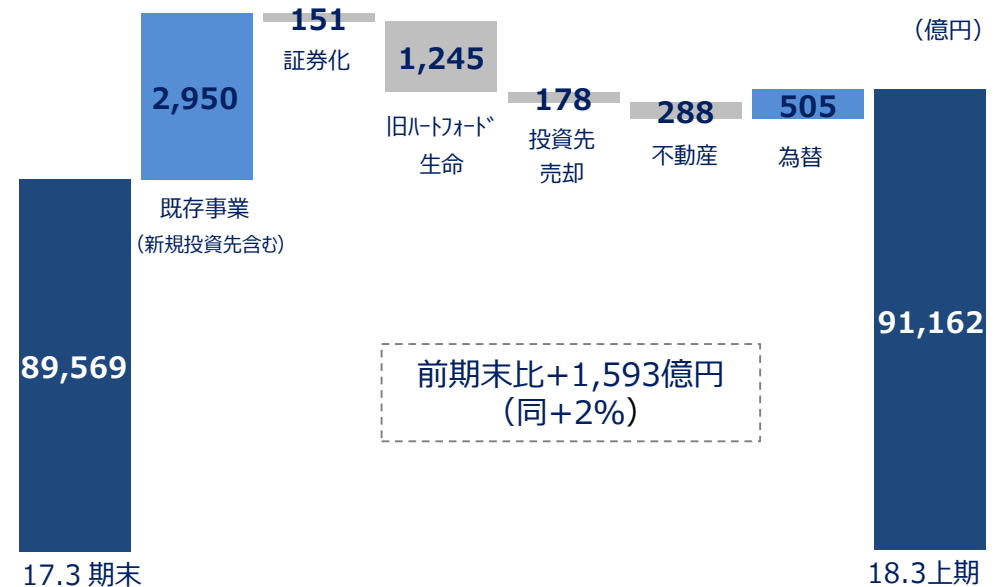
業績総括（4）

- 税引前当期純利益：前年同期比 +334億円（+15%）
 - ✓ 航空機・船舶、コンセッション、アセットマネジメント、環境エネルギー、銀行等が既存事業の増加に寄与
 - ✓ 売却益は前年同期とほぼ同水準
- セグメント資産：前期末比 1,593億円（+2%）
 - ✓ 既存事業の増加は、航空機・船舶、環境エネルギー事業の新規投資、銀行等

税引前当期純利益（前年同期比）



セグメント資産（前期末比）



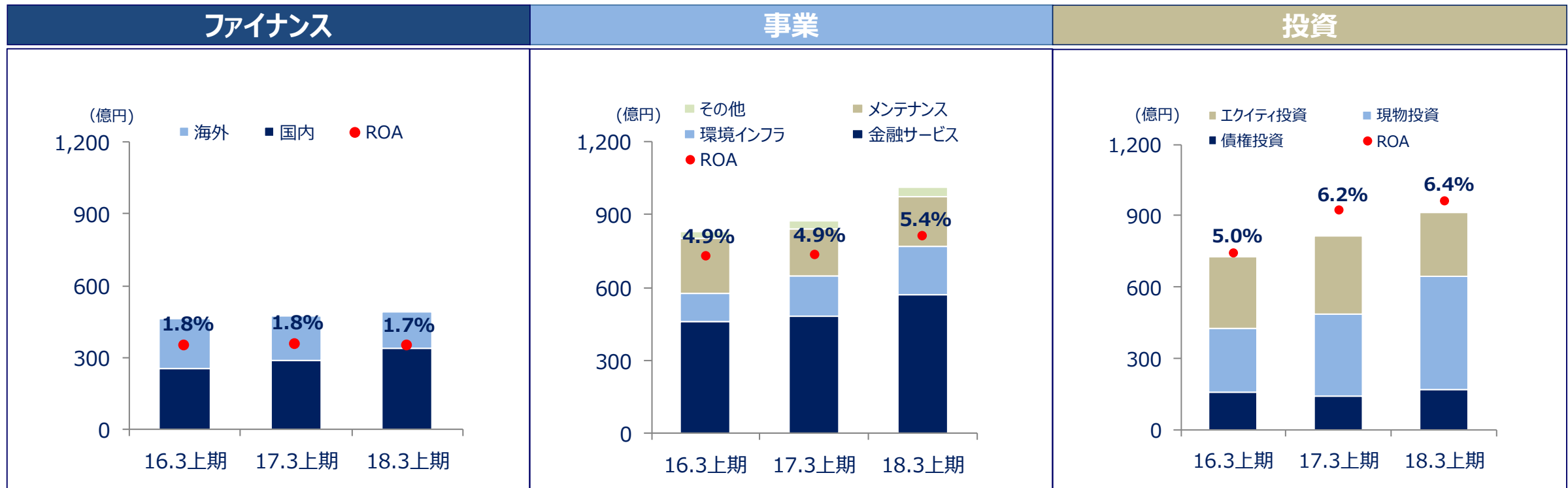
ポートフォリオの3分類で見る実績

3分類の詳細はP.41をご覧ください



- ✓ 事業：ロベコが前期比増加するとともに、米国のボストンフィナンシャルが利益貢献
コンセッション、環境エネルギー事業も引き続き好調
- ✓ 投資：航空機・船舶の利益貢献が拡大

セグメント利益（3分類）



(注1) 16.3 上期の「事業」には、フリーハンIPOに伴う売却益・評価益（約396億円）と旧ハートフォード生命関連の期中の損益は含まれておりません。

(注2) 17.3 上期の「事業」には、旧ハートフォード生命関連の期中の損益は含まれておりません。

(注3) 18.3 上期の「事業」には、フリーハン株式の売却益と旧ハートフォード生命関連の期中の損益は含まれておりません。

2018年3月期 上期の主な進捗

- ✓ 上期の「事業」「投資」での新規投資は約4,500億円、新規投資のパイプラインは潤沢
- ✓ さまざまな事業分野での成果を、今後の成長につなげる

分野	主な進捗
環境エネルギー事業	<ul style="list-style-type: none"> • メガソーラーの稼動は順調に進展（9月末時点で990MW確保、650MW稼動済み） • 地熱発電事業会社Ormatへの出資を実行（22.1%、約700億円）
コンセッション事業	<ul style="list-style-type: none"> • オリックス、ヴァンシ・エアポート、関西エアポートで構成するコンソーシアムが神戸空港の運営権を取得
米国事業	<ul style="list-style-type: none"> • 交通インフラサービス会社、不動産ローン組成・サービシング会社を追加買収
国内PE投資	<ul style="list-style-type: none"> • 上期では新規投資1件（情報処理サービス事業）、売却が1件（業務用酒類卸売業）
航空機事業	<ul style="list-style-type: none"> • 上期の新規投資は44機（JV含む）、今期は主にナローボディで約70機の新規購入を予定

2019年3月期からの経営目標

利益成長

当期純利益 年間成長率4~8%

資本効率

ROE 11% 以上

健全性

信用格付A格

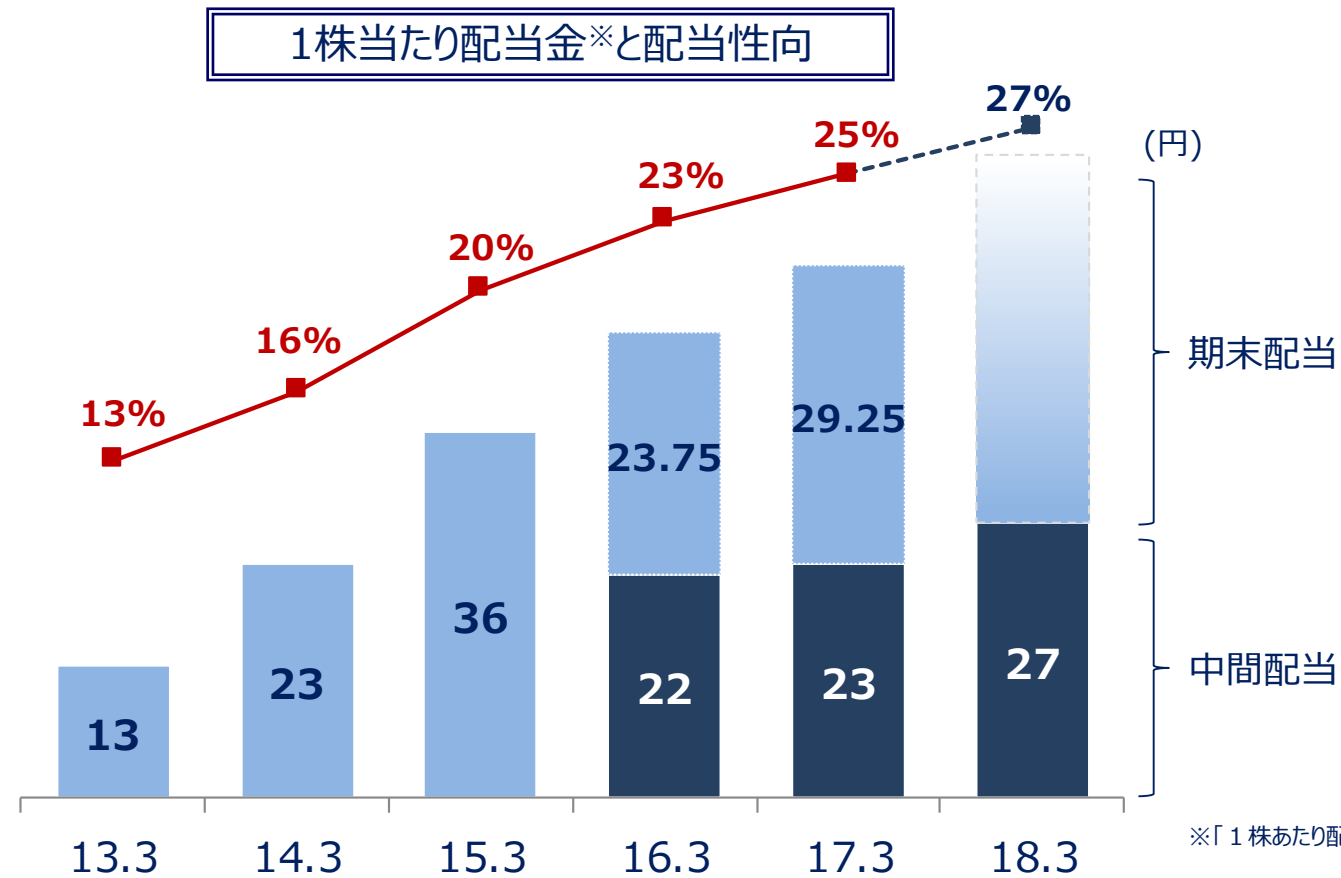
グローバル企業としてのERM強化

株主還元の方針

- 配当性向は27%
- 自社株買いを機動的な株主還元として位置付ける

中間配当および通期配当性向

- ✓ 中間配当27円（前年同期比17%増）
- ✓ 通期の配当性向は27%
- ✓ 持続的な利益成長に向けた新規投資と、安定した還元との最適なバランスを考慮

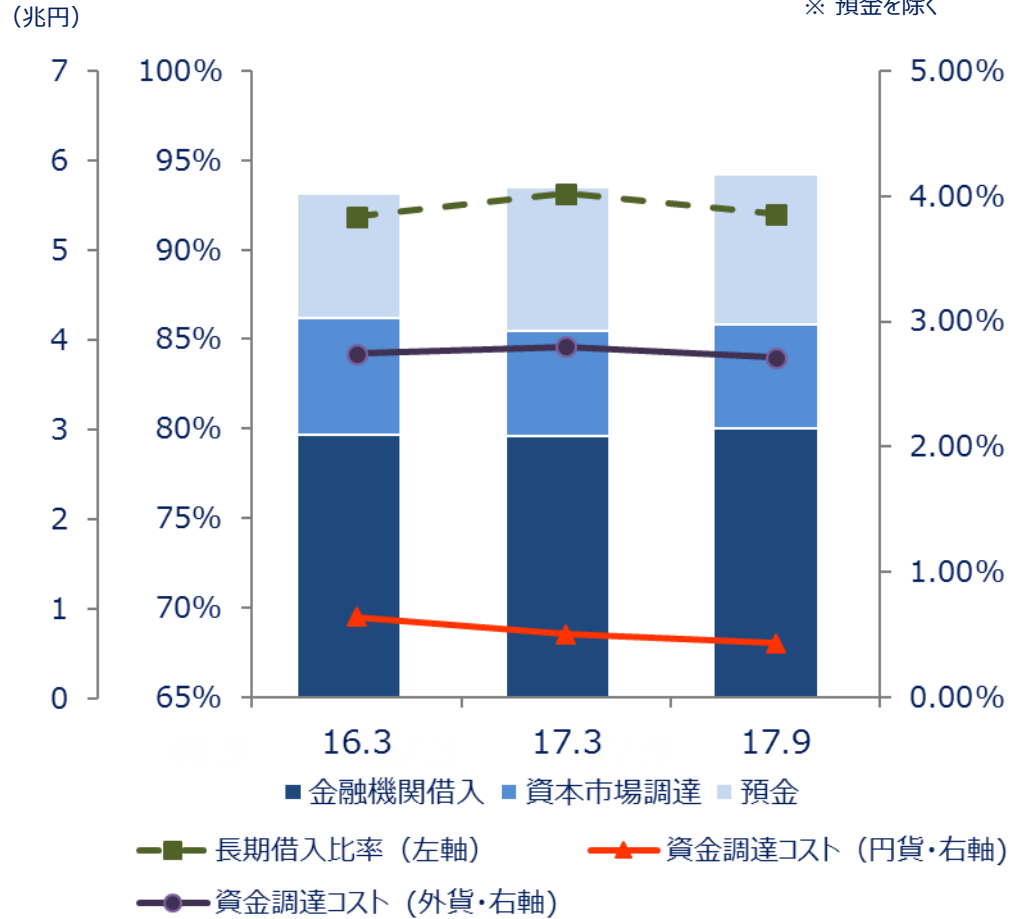


財務（1）調達構造

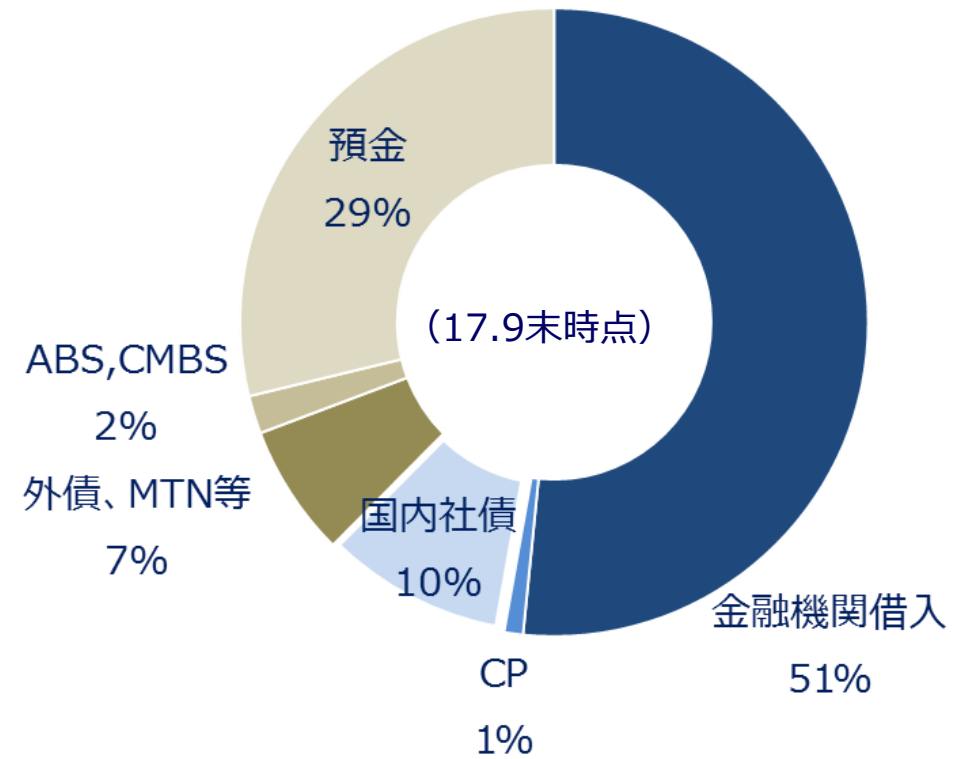
✓ 調達の長期化・安定化とコストコントロールの両方を実現

調達構造・長期借入比率（※）・コストの推移

※ 預金を除く



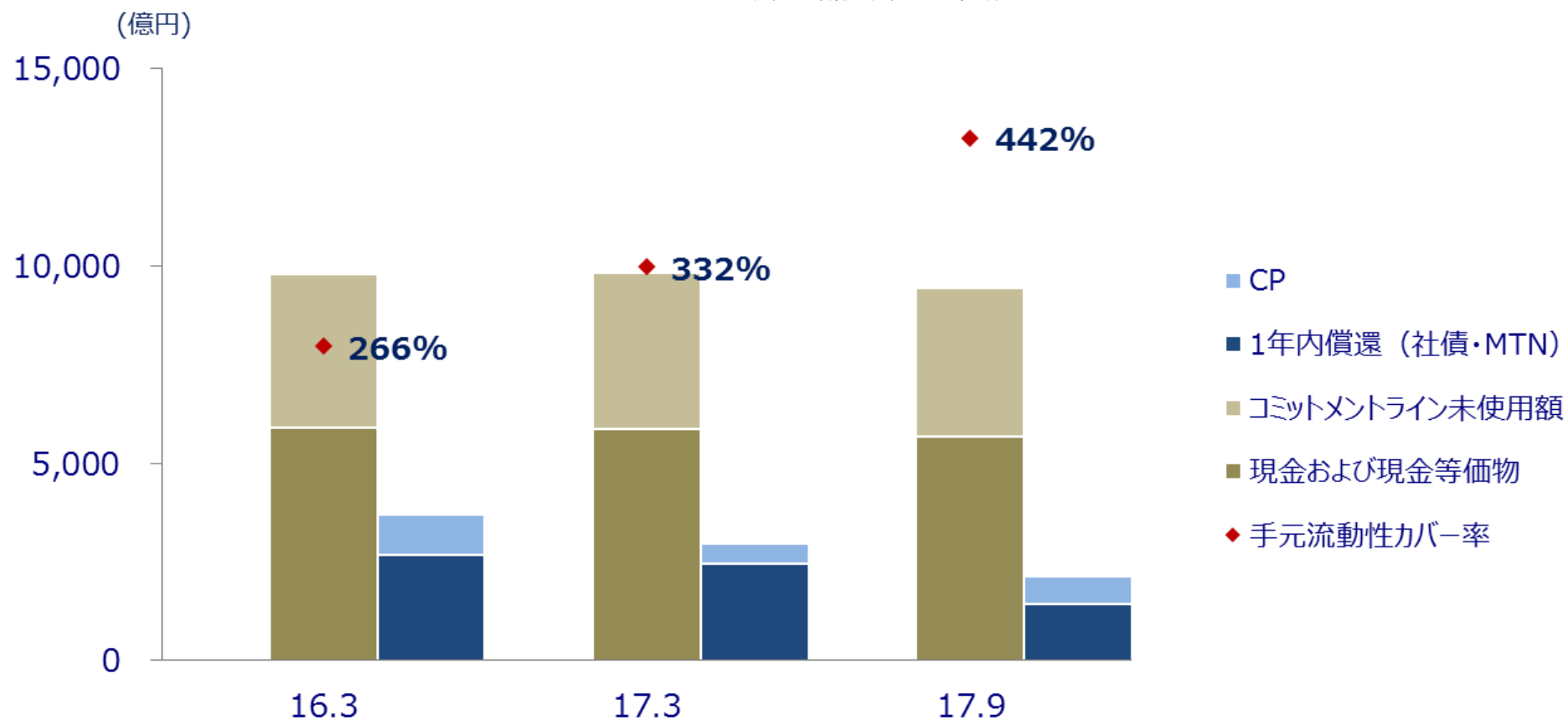
資金調達の内訳



✓ 高い手元流動性を維持

市場性短期債務に対する手元流動性 (※)

※ オリックス銀行・オリックス生命を除く



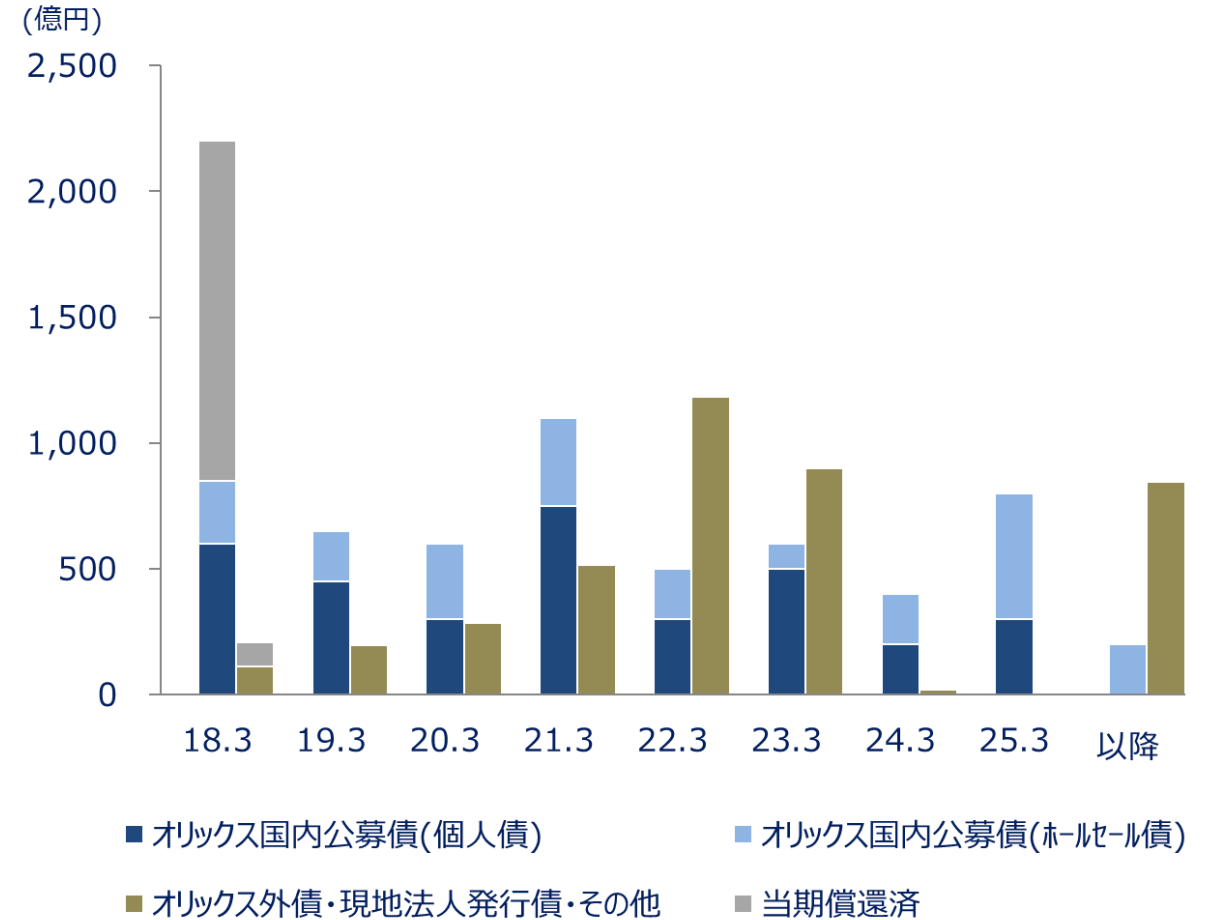
財務 (3) 社債発行実績と償還スケジュール

✓ 事業展開に合わせ最適な発行体・通貨にて発行し、調達手段の多様化を推進

発行実績 (2018.3期)

銘柄	発行日	発行金額	期間(年)	発行区分	クーポンレート
オリックス 国内公募債					
第190回	2017/5/1	200億円	5	個人債	0.150%
第191回	2017/4/20	100億円	5	ホールド債	0.150%
第192回	2017/6/22	300億円	5	個人債	0.150%
第193回	2017/9/14	100億円	7	ホールド債	0.260%
		700億円			
オリックス 外債					
米ドル建社債	2017/7/18	USD 750mil (845億円)	5	ホールド債	2.900%
米ドル建社債	2017/7/18	USD 500mil (564億円)	10	ホールド債	3.700%
		1,409億円			
現地法人発行債					
韓国ウォン債	2017/4/11	KRW 10,000mil (10億円)	2	ホールド債	1.961%
韓国ウォン債	2017/4/11	KRW 20,000mil (20億円)	5	ホールド債	2.518%
インドルピー債	2017/4/26	INR 1,000mil (17億円)	2	ホールド債	8.100%
マレーシアリングット債	2017/5/5	MYR 45mil (12億円)	2	ホールド債	4.300%
韓国ウォン債	2017/6/8	KRW 10,000mil (10億円)	2	ホールド債	1.941%
韓国ウォン債	2017/6/8	KRW 10,000mil (10億円)	5	ホールド債	2.477%
韓国ウォン債	2017/7/31	KRW 10,000mil (10億円)	3	ホールド債	2.215%
韓国ウォン債	2017/7/31	KRW 10,000mil (10億円)	5	ホールド債	2.574%
インドルピー債	2017/8/1	INR 1,000mil (17億円)	3	ホールド債	7.800%
韓国ウォン債	2017/8/3	KRW 10,000mil (10億円)	3	ホールド債	2.225%
韓国ウォン債	2017/9/20	KRW 20,000mil (20億円)	3	ホールド債	2.294%
インドルピー債	2017/9/21	INR 1,000mil (17億円)	3	ホールド債	7.700%
		163億円			

償還スケジュール (17.9末時点)



財務（４）アセットクオリティ

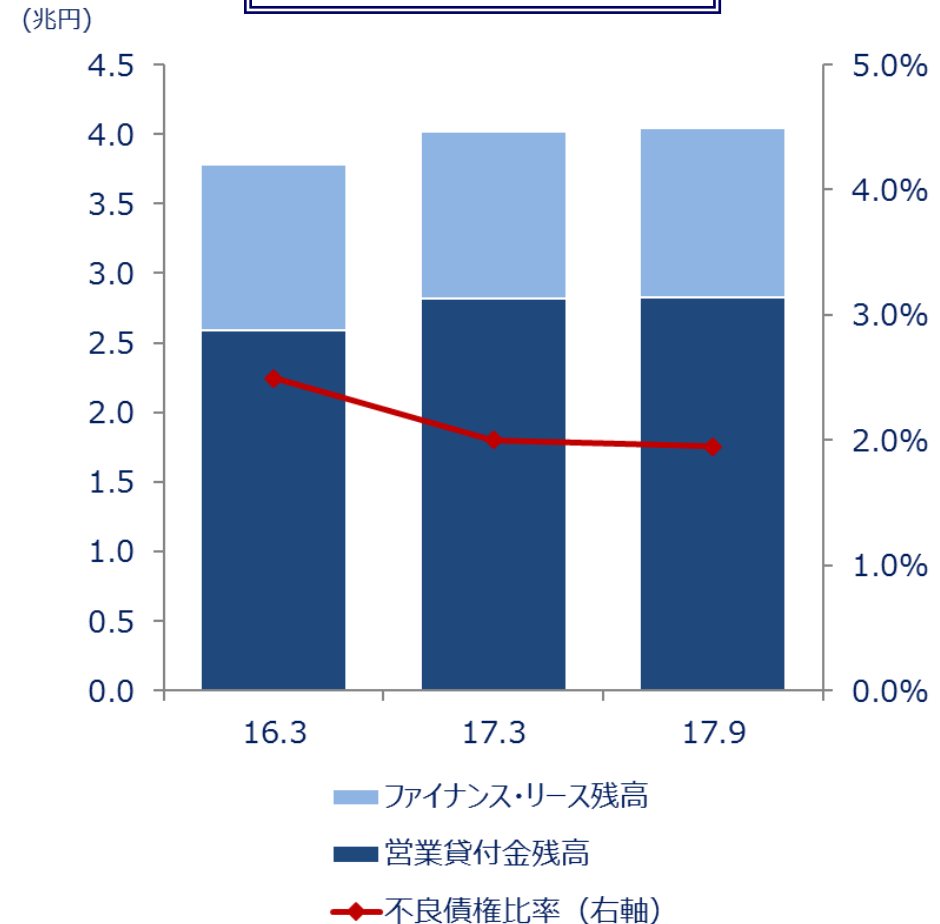
✓ 不良債権比率は引き続き低水準

個別引当対象貸付金債権額の保全率

(億円)	16.3	17.3	17.9
個別引当対象貸付金債権額 (a)	736	590	547
回収見込額	511	390	* 369
不動産担保等で保全されている額	406	316	300
保全額 (b)	631	517	479
不動産担保等で保全されている額	406	316	300
貸倒引当金残高（個別引当）	225	201	179
保全率 (b)/(a)	85.8%	87.5%	87.4%

* 個別引当対象貸付金債権額のうち不動産担保等で保全されている債権額(300億円)、およびキャッシュフロー等の担保処分以外からの回収を見込む債権額（69億円）の合計

不良債権比率の推移



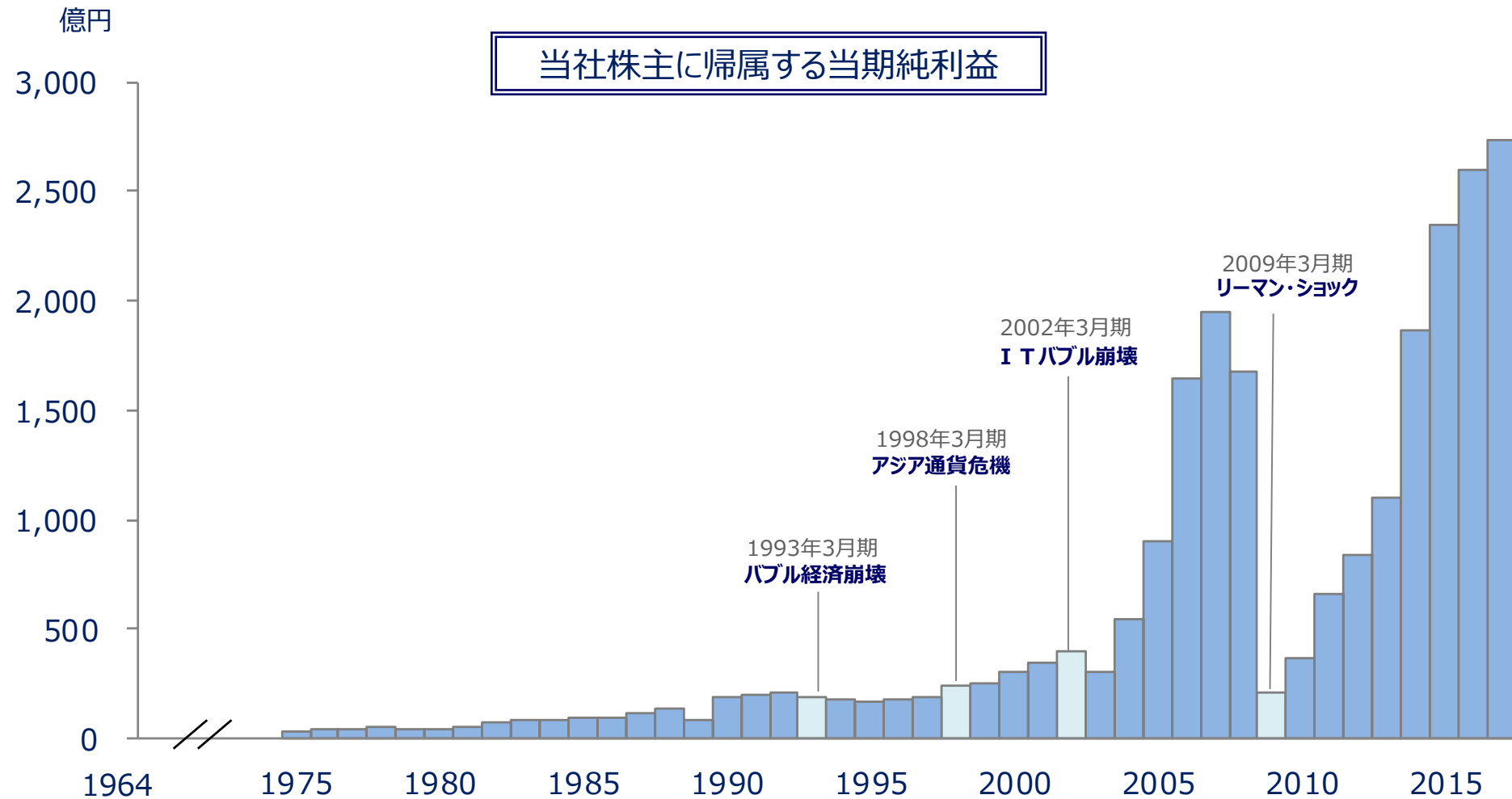
**18.3期上期の当期純利益は1,660億円、前年同期比17%増益
ROE（年換算）は13%**

19.3期以降の成長に向けた新規投資は多方面で進展

**安定利益の拡大を目指すとともに
成長と還元のバランスをより積極的にコントロール**

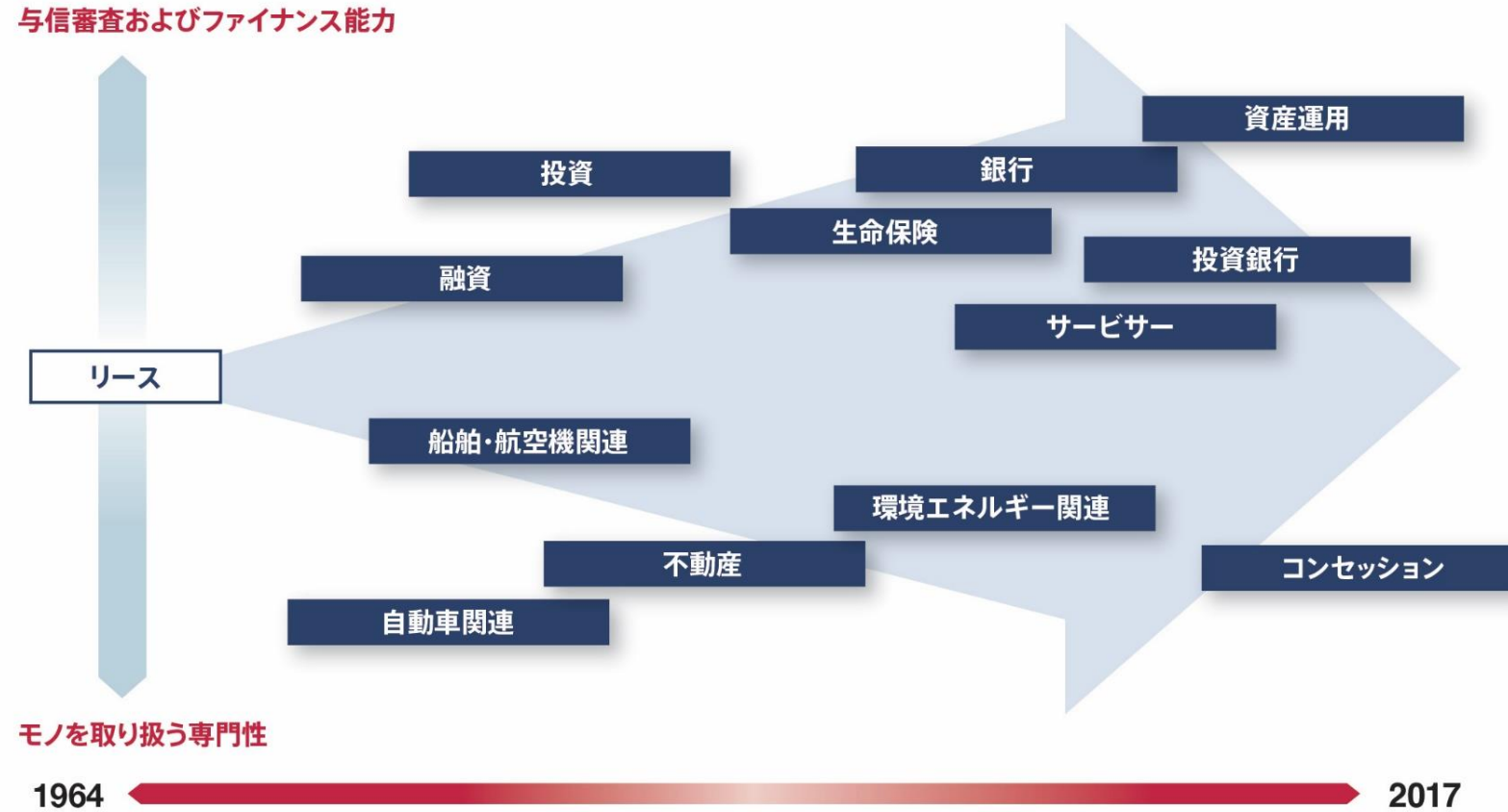
補足資料

- ✓ 設立初年度を除き、52年間毎期黒字を計上



オリックスについて 事業の専門性とグループの総合力

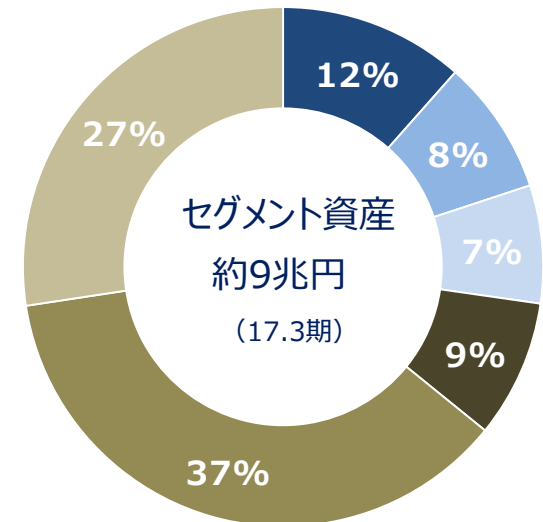
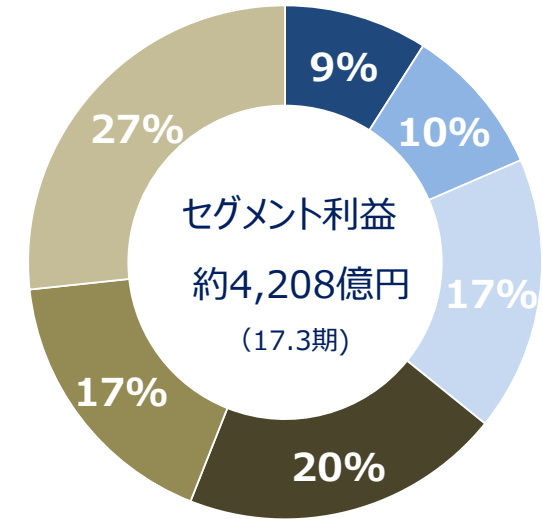
✓ 「金融」と「モノ」の専門性を高めながら、隣へ、そのまた隣へと事業展開



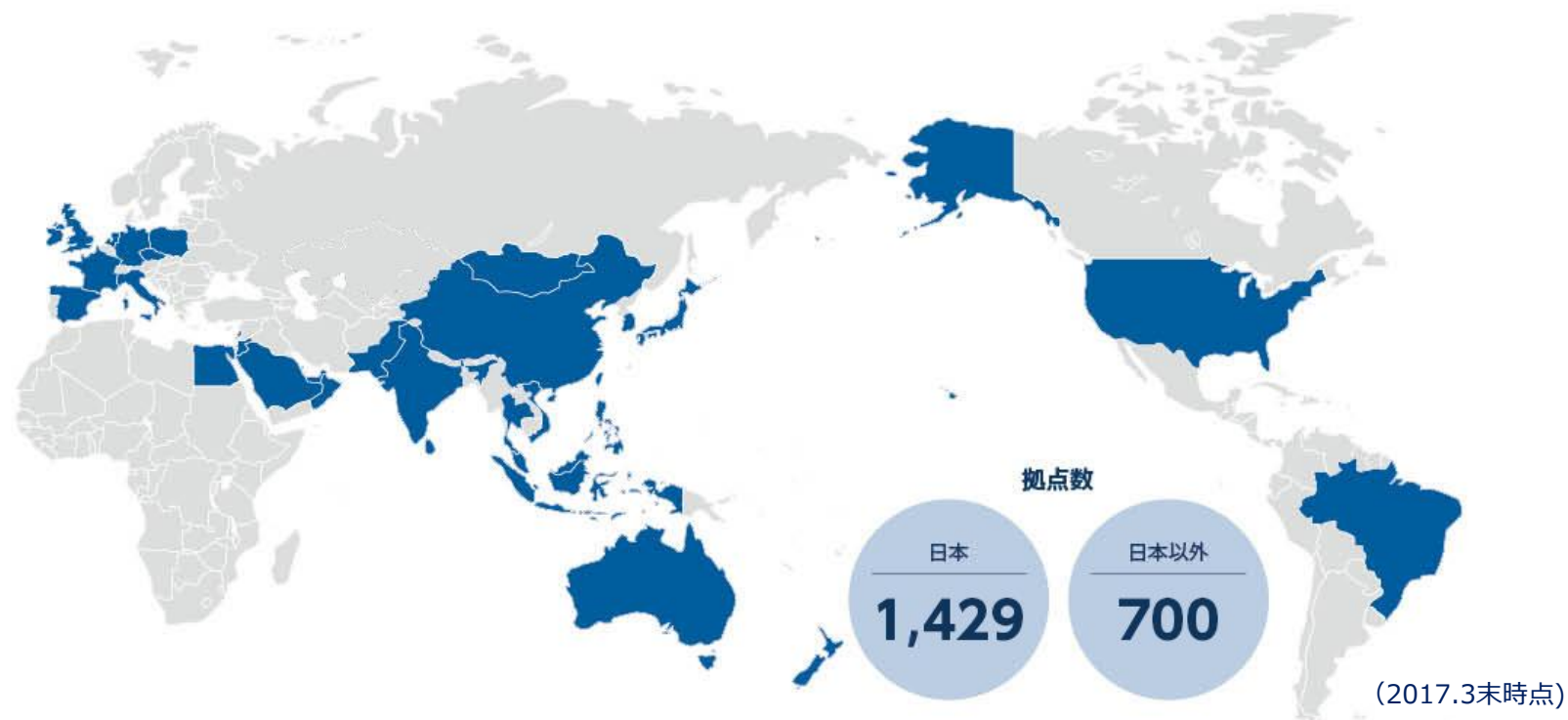
オリックスについて セグメント別の利益・資産の構成

✓ それぞれの事業が独自の強みを最大限に発揮し、相乗効果を生み出している

法人金融	融資、リース、各種手数料ビジネス
メンテナンスリース	自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタル及びリース
不動産	不動産開発・賃貸、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問
事業投資	環境エネルギー、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）、コンセッション
リテール	生命保険、銀行、カードローン
海外	リース、融資、債券投資、アセットマネジメント、航空機・船舶関連

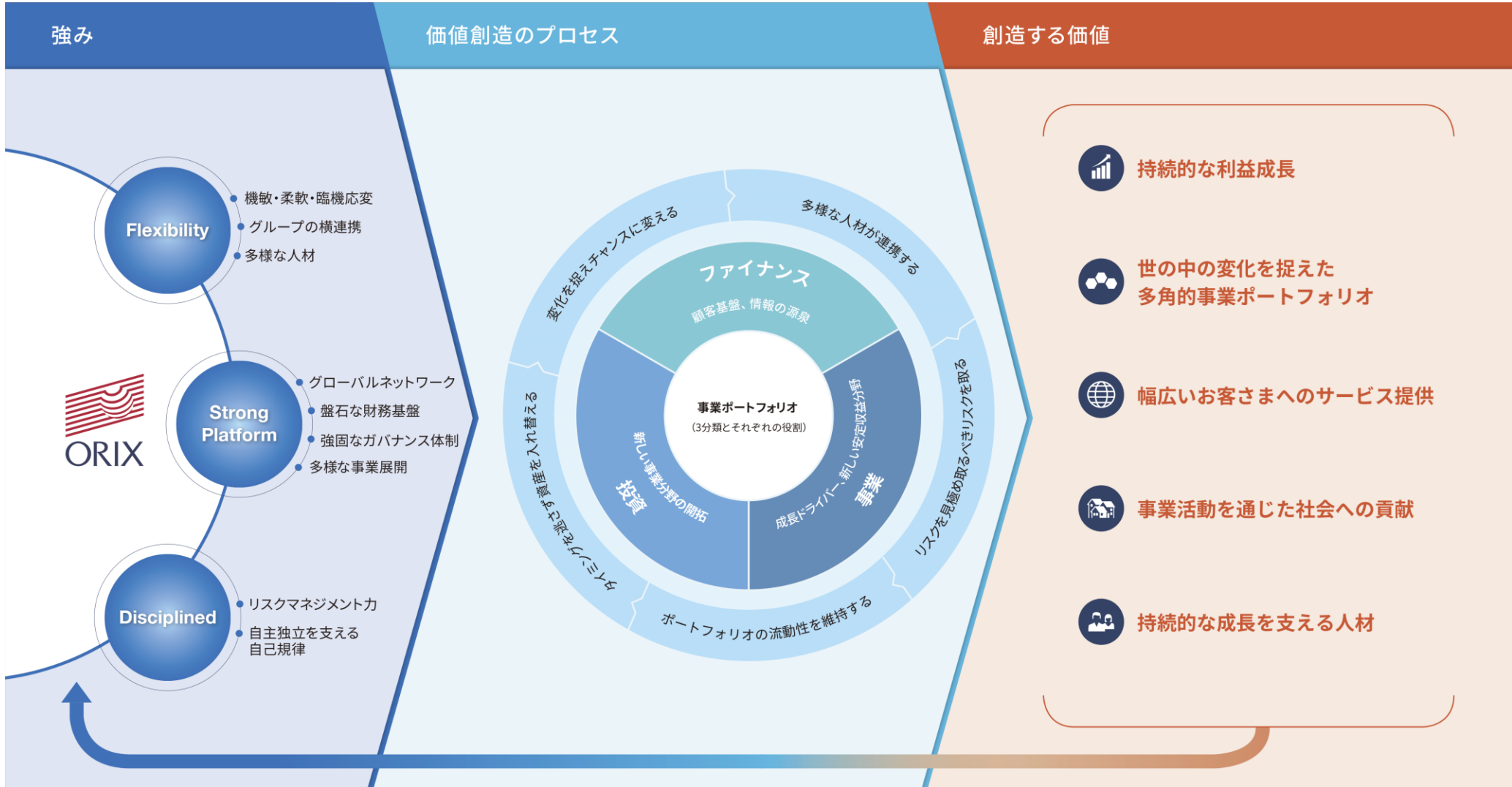


✓ 国内で培ったノウハウを元にネットワークを拡大、世界36ヶ国で事業を展開



1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
グローバルネットワークの国数				
7カ国	12カ国	18カ国	26カ国	36カ国
アジアでのリースを中心としたグローバルネットワークの拡大		グローバルネットワークの拡大継続 航空機関連やエクイティ投資へ事業が多角化		ロベコ買収や、環境エネルギー事業の展開を通じてさらに事業分野が拡大

✓ 社会の変化や市場の変化を捉えて新しい価値を創造



補足資料（1）業績推移総括

(単位：億円)

	16.3期	17.3期	17.3期 上期	18.3期 上期	前年同期比
営業収益	23,692	26,787	12,211	15,178	124%
当期純利益 ※1	2,602	2,732	1,422	1,660	117%
セグメント資産	89,724	89,569	85,362	91,162	107%
総資産	109,929	112,319	107,827	114,260	106%
株主資本	23,104	25,077	23,650	26,107	110%
株主資本比率	21.0%	22.3%	21.9%	22.8%	+0.9%
ROE	11.7%	11.3%	12.2%	13.0%	0.8%
セグメント資産ROA	2.87%	3.05%	3.25%	3.67%	0.42%
D/E比率					
長短借入債務および預金/株主資本	2.5倍	2.3倍	2.3倍	2.3倍	0.0倍
長短借入債務/株主資本	1.9倍	1.7倍	1.7倍	1.6倍	-0.1倍

※1 当社株主に帰属する当期純利益

補足資料 (2) セグメント別利益

(単位：億円)

	16.3期	17.3期	17.3期 上期	18.3期 上期	前年同期比
法人金融サービス	424	380	199	220	111%
メンテナンスリース	429	398	197	204	104%
不動産	429	728	354	440	124%
事業投資	572	850	520	389	75%
リテール	518	729	355	430	121%
海外	1,429	1,123	515	814	158%
セグメント利益合計	3,801	4,208	2,140	2,498	117%

補足資料（3）セグメント別資産

(単位：億円)

	16.3	17.3	16.9	17.9	前期末比
法人金融サービス	10,499	10,322	10,344	10,015	97%
メンテナンスリース	7,313	7,525	7,242	7,825	104%
不動産	7,396	6,577	7,051	6,289	96%
事業投資	7,042	7,687	6,958	8,636	112%
リテール	34,628	32,916	33,254	32,091	97%
海外	22,847	24,542	20,515	26,305	107%
セグメント資産合計	89,724	89,569	85,362	91,162	102%

補足資料（４） 損益の状況

(単位：億円)

	16.3期	17.3期	17.3期 上期	18.3期 上期	前年同期比
金融収益	2,009	2,006	966	1,065	110%
有価証券売却益および受取配当金	358	303	152	205	135%
オペレーティング・リース収益	1,288	1,551	748	727	97%
生命保険料収入および運用益	681	958	443	495	112%
商品および不動産売上高	858	865	432	370	86%
サービス収入	2,898	2,866	1,450	1,585	109%
営業粗利益 ※1	8,092	8,549	4,191	4,447	106%
支払利息	728	729	353	379	107%
販売費および一般管理費	4,227	4,187	2,037	2,093	103%
貸引・減損	297	384	144	99	69%
その他の損益（純額）	-37	-44	-7	-15	-
営業利益	2,877	3,292	1,663	1,890	114%
持分法投資損益	457	265	158	386	245%
子会社・関連会社株式売却損益等	579	692	371	250	67%
税引前当期純利益	3,913	4,250	2,192	2,526	115%
当期純利益	2,602	2,732	1,422	1,660	117%

※1 営業収益に対応する原価・費用を控除したネットの金額

補足資料（５）財務の状況

(単位：億円)

資金調達残高	16.3	17.3	16.9	17.9	前年同期比
CP	1,024	501	140	712	572
金融機関借入	29,706	29,582	27,691	30,444	2,753
社債・MTN	9,381	8,851	9,425	9,721	296
預金	13,985	16,146	14,902	16,984	2,082
ABS、CMBS	2,755	2,451	2,883	1,156	-1,727
長短借入債務および預金	56,850	57,531	55,041	59,016	3,975
長期比率	92%	93%	95%	92%	-3%

手元流動性（銀行・生命を除く）	16.3	17.3	16.9	17.9	前年同期比
現金および現金等価物（①）	5,887	5,866	6,624	5,678	-946
コミットメントライン未使用額（②）	3,899	3,940	3,563	3,764	201
手元流動性（①＋②）	9,786	9,806	10,188	9,442	-746
市場性短期債務（③） ※1	3,686	2,952	3,546	2,138	-1,408
手元流動性カバー率（〔①＋②〕/③）	266%	332%	287%	442%	155%

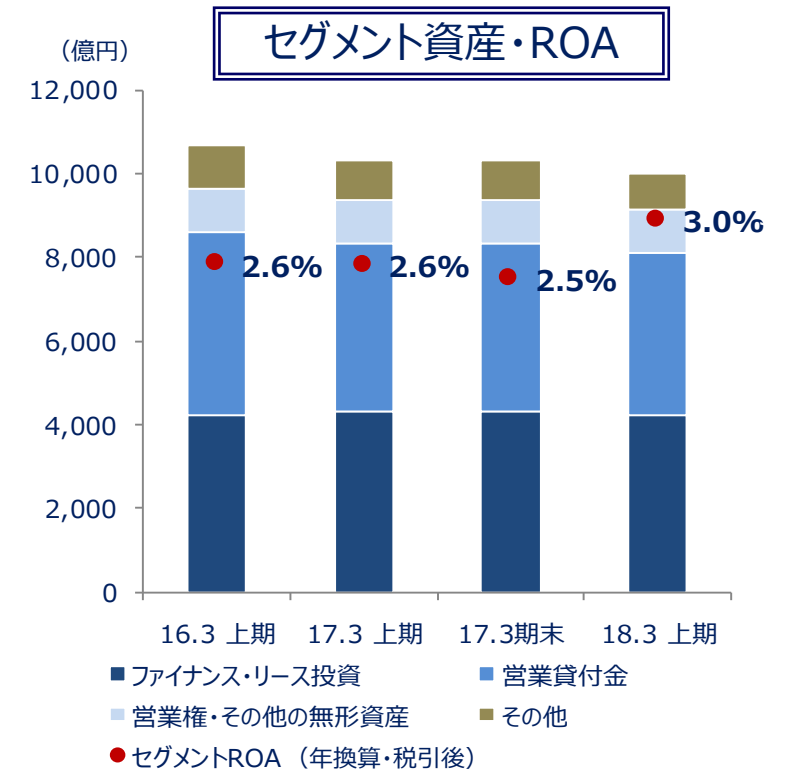
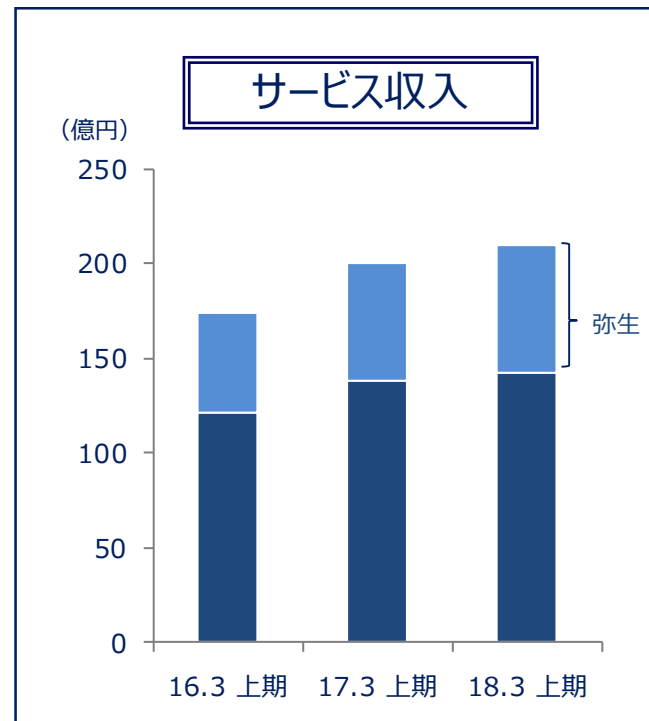
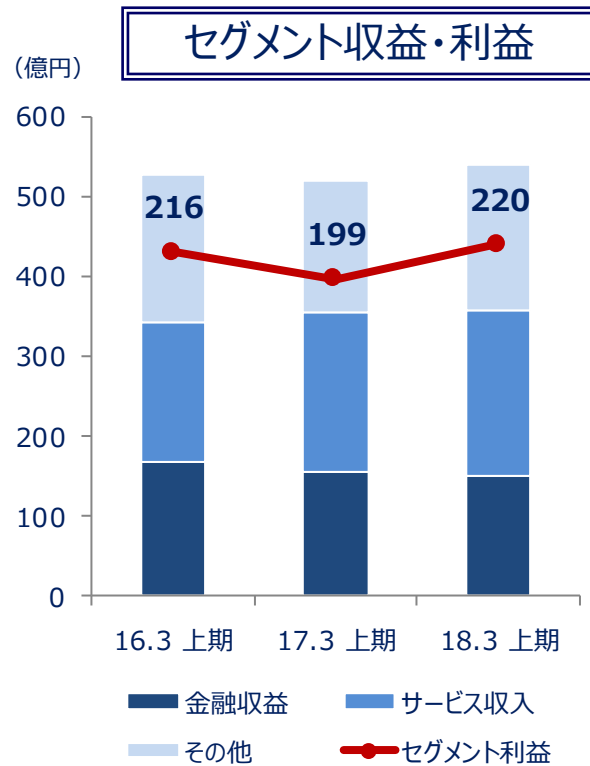
資金調達コスト（預金含む）	16.3期	17.3期	17.3期 上期	18.3期 上期	前年同期比
円貨	0.64%	0.50%	0.53%	0.43%	-0.10%
外貨	2.74%	2.80%	2.75%	2.71%	-0.04%

※1 1年以内に償還予定の社債・MTNと、CP残高の合計値

セグメント別業績

セグメント別業績（1） 法人金融サービス

- セグメント利益：220億円 前年同期比 +22億円（+11%）
 - ✓ サービス収入が前年同期で増加
 - ✓ 有価証券および関連会社株式の売却益を計上
- セグメント資産：10,015億円 前期末比 ▲307億円（▲3%）
 - ✓ 主に営業貸付金が減少



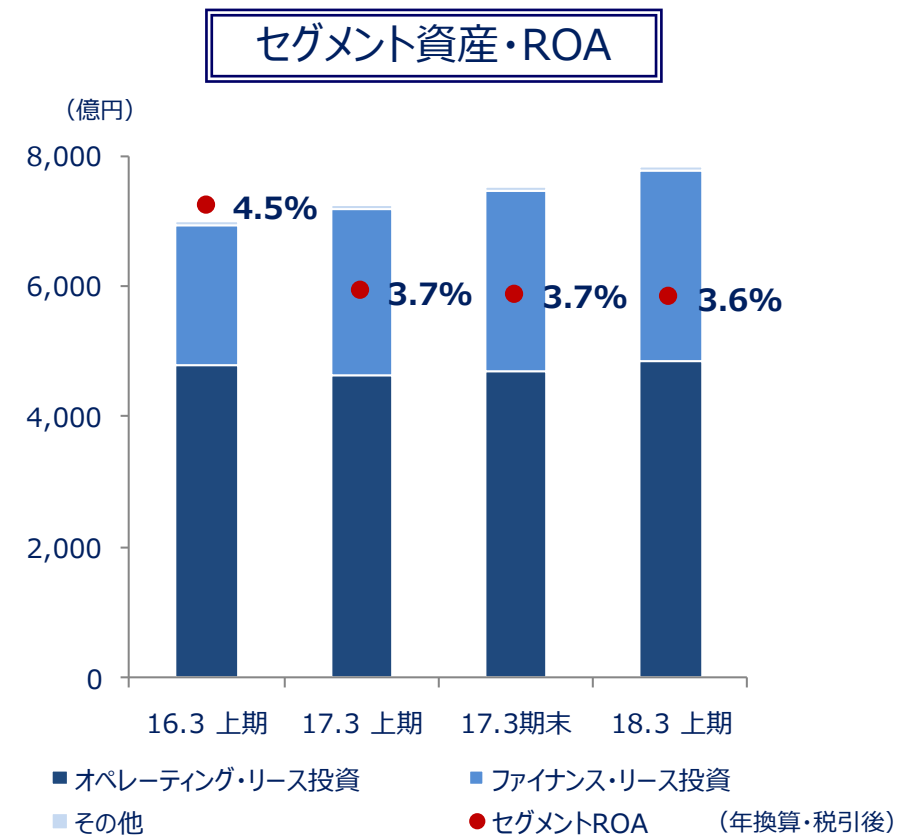
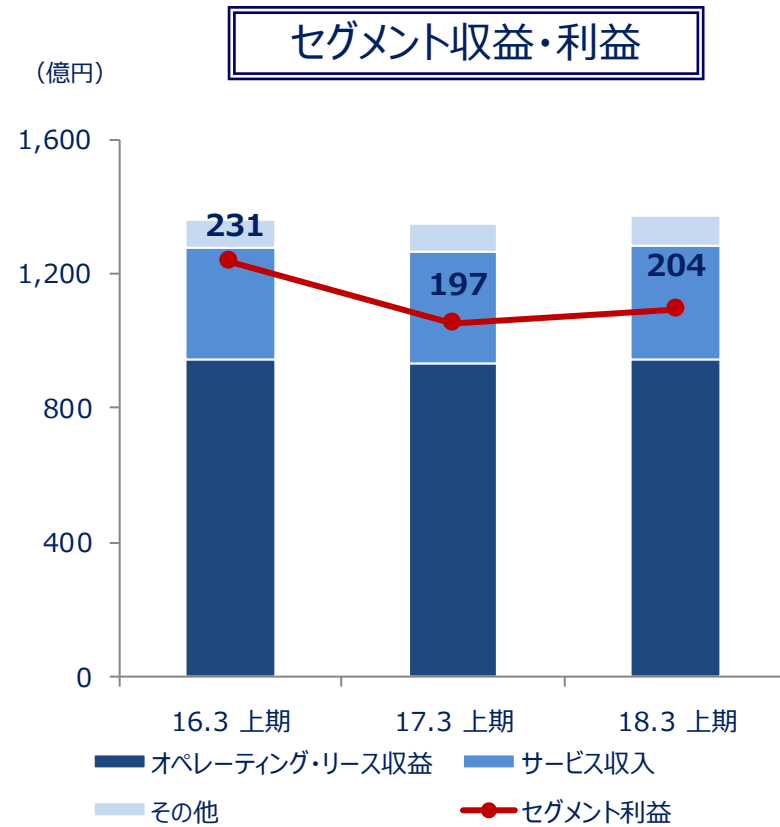
セグメント別業績（1）法人金融サービス

（単位：億円）

	16.3期	17.3期	17.3期 上期	18.3期 上期	前年同期比
金融収益	342	302	155	149	96%
オペレーティング・リース収益	255	256	122	115	94%
サービス収入	357	406	201	209	104%
商品および不動産売上高 他	117	66	42	66	158%
セグメント収益	1,072	1,030	520	540	104%
セグメント費用	655	680	339	341	101%
セグメント利益	424	380	199	220	111%
ファイナンス・リース投資	4,316	4,339	4,308	4,239	
営業貸付金	4,118	3,986	4,014	3,874	
セグメント資産	10,499	10,322	10,344	10,015	
ROA	2.59%	2.50%	2.61%	2.96%	

セグメント別業績（2）メンテナンスリース

- セグメント利益：204億円 前年同期比 +8億円（+4%）
 - ✓ 中古車売却益が減少した一方、自動車の資産増加によりリース収益は増加
- セグメント資産：7,825億円 前期末比 +300億円（+4%）
 - ✓ 自動車リースの新規実行が増加



セグメント別業績（２） メンテナンスリース

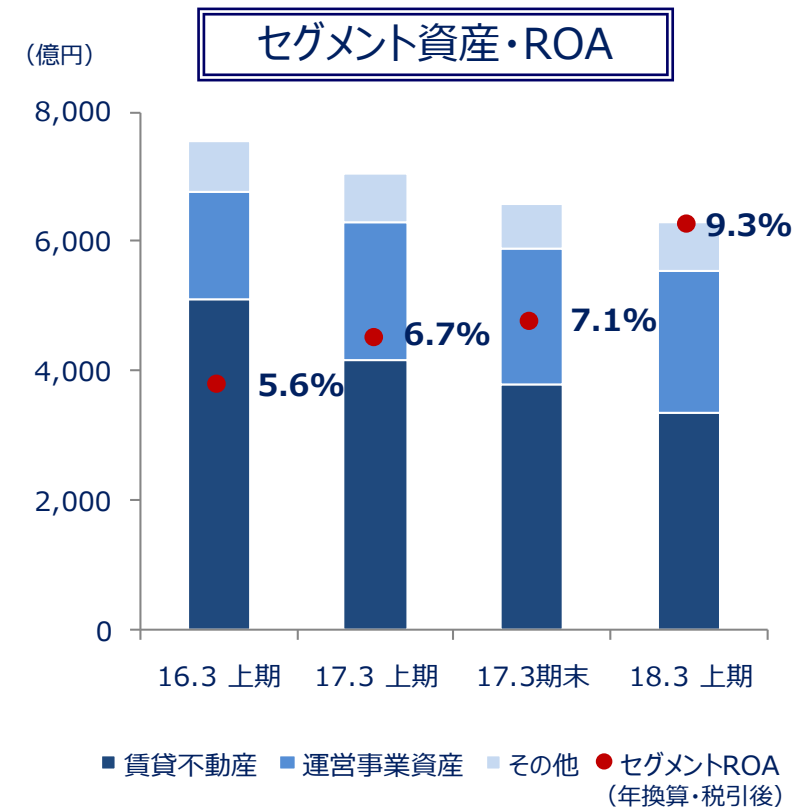
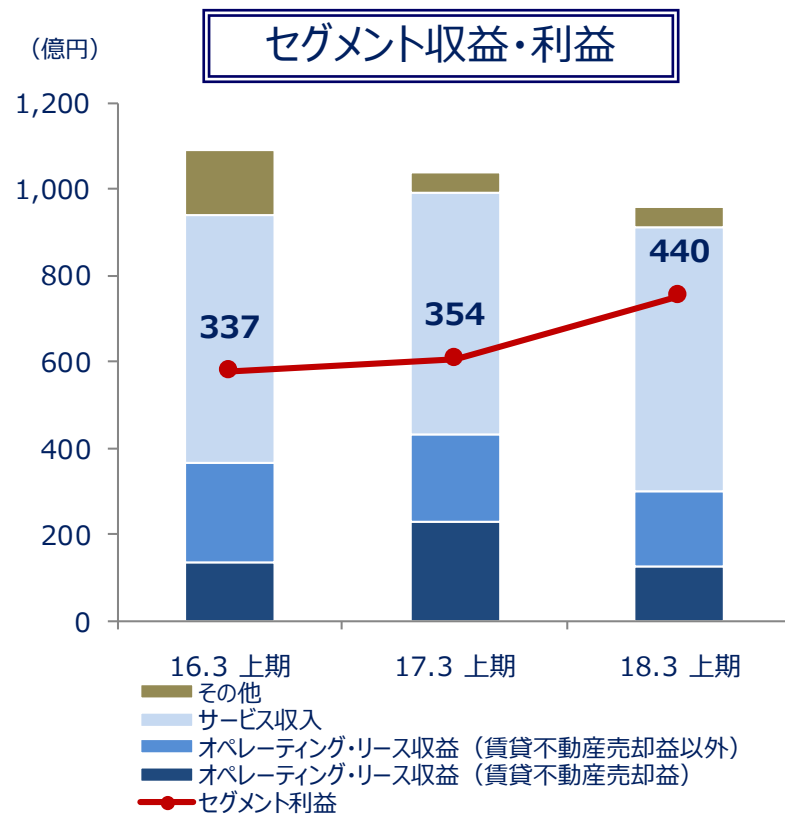
(単位：億円)

	16.3期	17.3期	17.3期 上期	18.3期 上期	前年同期比
金融収益	121	130	64	70	110%
オペレーティング・リース収益	1,888	1,872	933	945	101%
サービス収入	668	663	333	337	101%
セグメント収益	2,717	2,706	1,348	1,370	102%
セグメント費用	2,287	2,308	1,152	1,164	101%
セグメント利益	429	398	197	204	104%

ファイナンス・リース投資	2,453	2,775	2,546	2,909
オペレーティング・リース投資	4,810	4,698	4,646	4,867
セグメント資産	7,313	7,525	7,242	7,825
ROA	4.10%	3.66%	3.69%	3.64%

セグメント別業績（3）不動産

- セグメント利益：440億円 前年同期比 +85億円（+24%）
 - ✓ マーケットを捉えた売却によりキャピタルゲインを実現、施設運営事業のサービス収入も堅調に推移
- セグメント資産：6,289億円 前期末比 ▲288億円（▲4%）
 - ✓ 賃貸不動産が減少



セグメント別業績（3）不動産

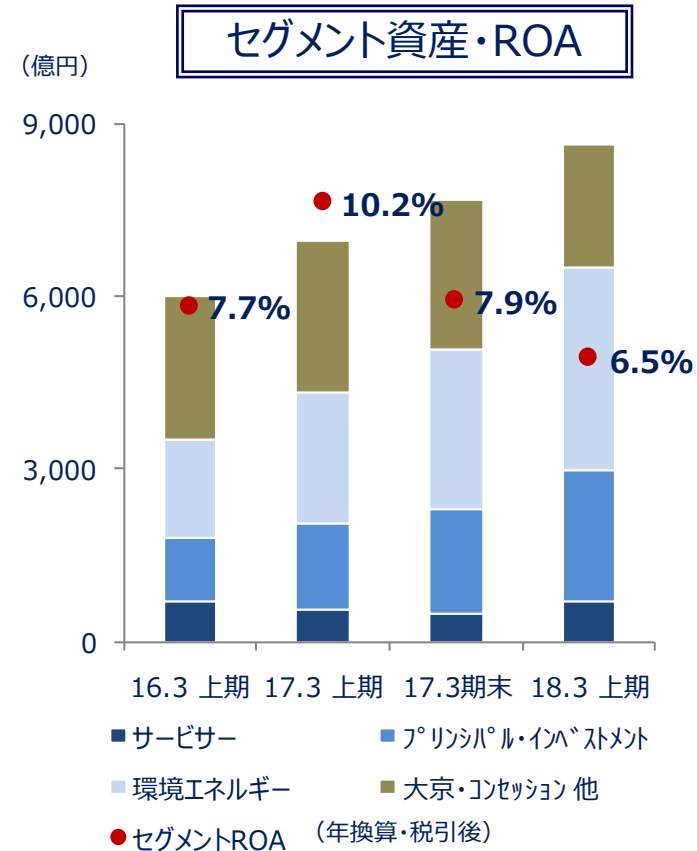
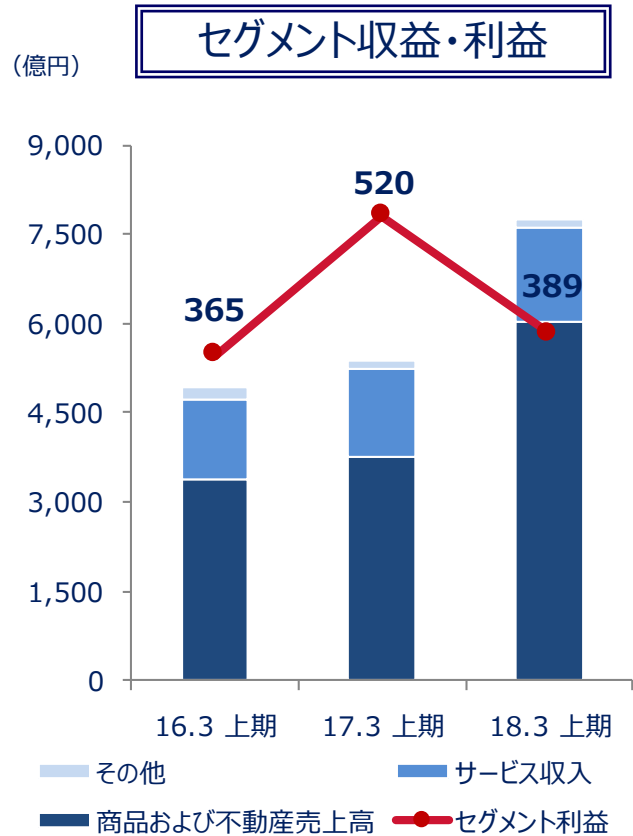
(単位：億円)

	16.3期	17.3期	17.3期 上期	18.3期 上期	前年同期比
金融収益	67	23	8	10	119%
オペレーティング・リース収益	603	882	433	301	70%
うち賃貸不動産売却益	161	497	230	126	55%
サービス収入	1,106	1,126	559	609	109%
商品および不動産売上高 他	139	90	41	38	93%
セグメント収益	1,915	2,121	1,041	958	92%
セグメント費用	1,546	1,431	701	728	104%
セグメント利益	429	728	354	440	124%

オペレーティング・リース投資	3,751	2,982	3,484	2,683
事業用資産	1,775	1,850	1,799	1,907
賃貸資産前渡金	385	186	225	172
関連会社投資	910	993	910	932
セグメント資産	7,396	6,577	7,051	6,289
ROA	3.62%	7.12%	6.70%	9.34%

セグメント別業績（４） 事業投資

- セグメント利益：389億円 前年同期比 ▲131億円（▲25%）
 - ✓ 前年同期の大口売却益の反動減、コンセッションや環境エネルギー事業は順調に増加
- セグメント資産：8,636億円 前期末比 +950億円（+12%）
 - ✓ 環境エネルギー事業、国内PEにおいて新規投資を実行



セグメント別業績（４） 事業投資

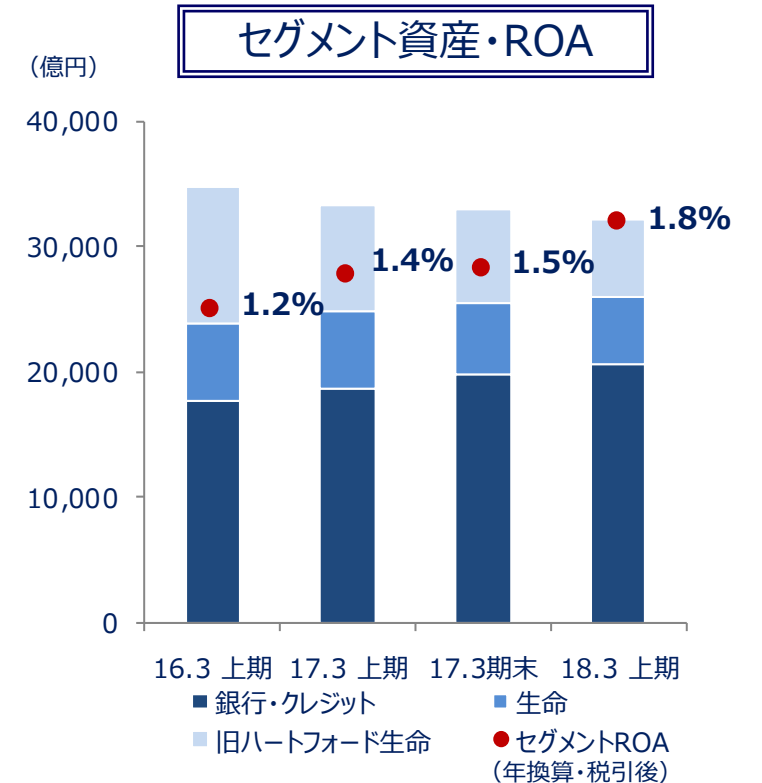
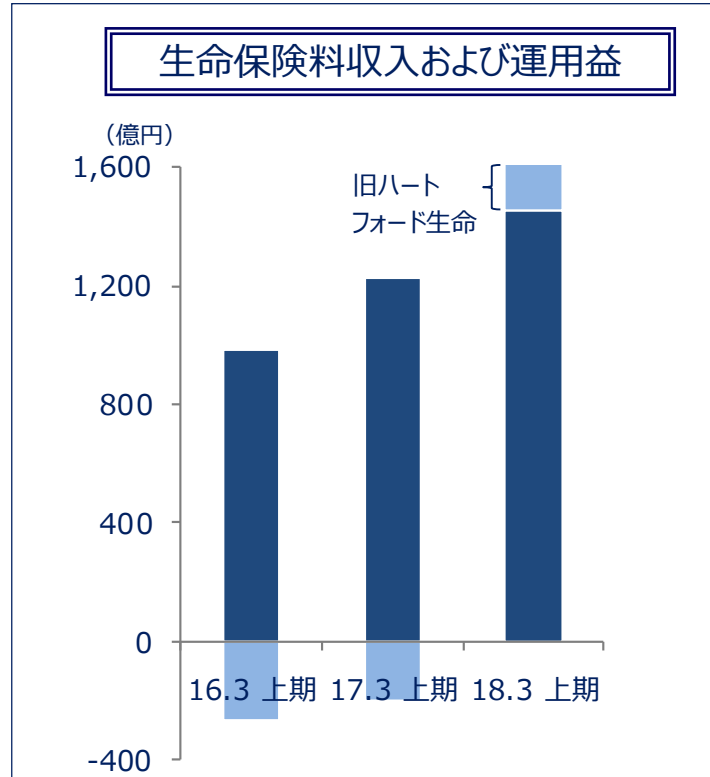
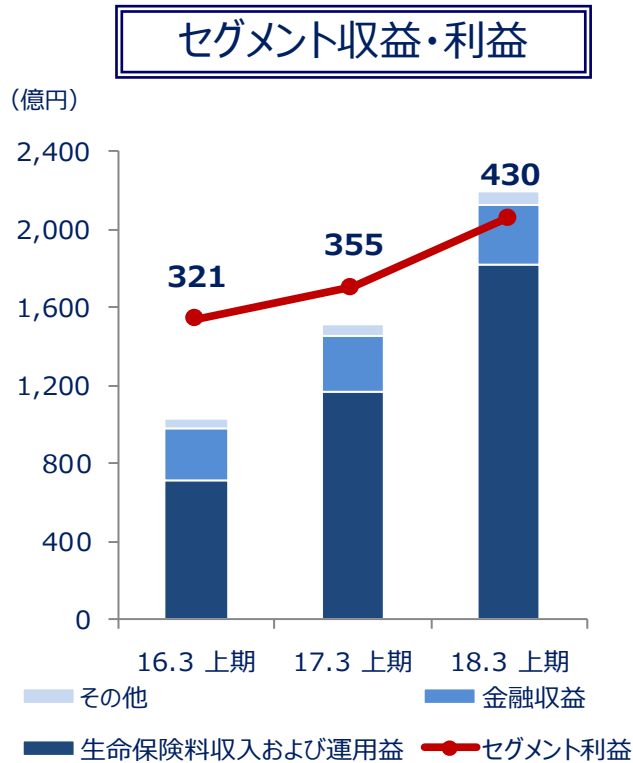
(単位：億円)

	16.3期	17.3期	17.3期 上期	18.3期 上期	前年同期比
金融収益	126	107	53	46	86%
有価証券売却益および受取配当金	103	130	62	44	70%
商品および不動産売上高	7,189	9,384	3,774	6,018	159%
サービス収入	2,772	2,997	1,456	1,581	109%
セグメント収益	10,284	12,720	5,390	7,744	144%
セグメント費用	9,832	12,243	5,221	7,485	143%
持分法投資損益等	121	373	351	131	37%
セグメント利益	572	850	520	389	75%

営業貸付金	760	564	648	547
投資有価証券	717	515	599	392
事業用資産	1,306	1,877	1,614	1,850
棚卸資産	980	1,128	1,130	1,254
関連会社投資	1,082	715	653	1,443
セグメント資産	7,042	7,687	6,958	8,636
ROA	5.58%	7.88%	10.16%	6.52%

セグメント別業績（5）リテール

- セグメント利益：430億円 前年同期比 +74億円（+21%）
 - ✓ 銀行の金融収益および生命保険料収入が伸長、前期に減益となった旧ハートフォード生命の収益が改善
- セグメント資産：32,091億円 前期末比 ▲825億円（▲3%）
 - ✓ オリックス生命の債券売却、旧ハートフォード生命のランオフ資産減少の影響
 - ✓ 銀行の残高は増加



セグメント別業績（５）リテール

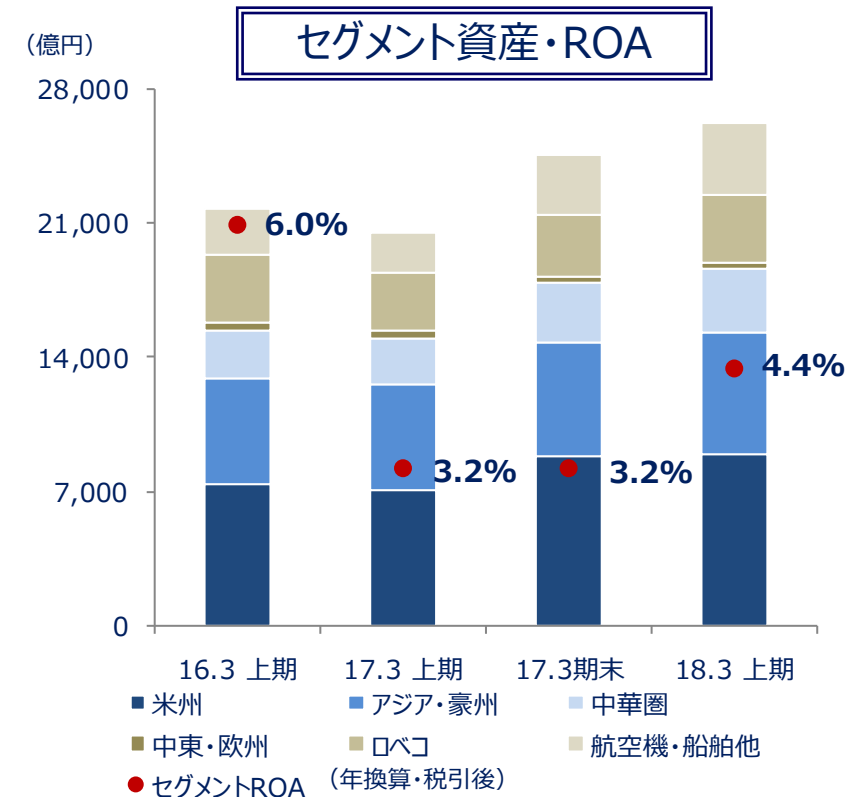
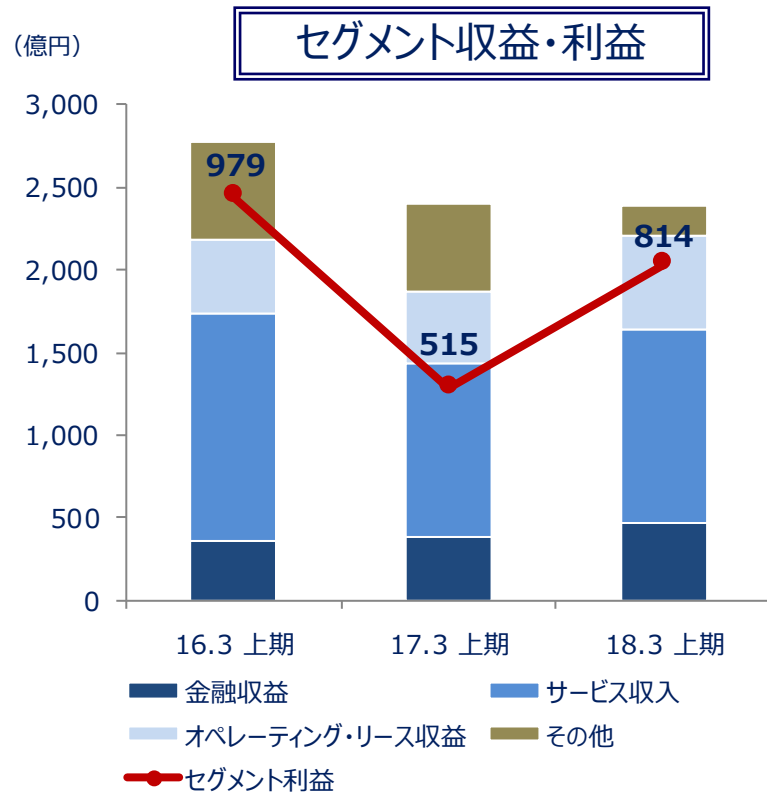
(単位：億円)

	16.3期	17.3期	17.3期 上期	18.3期 上期	前年同期比
金融収益	553	592	289	309	107%
生命保険料収入および運用益	1,908	2,979	1,164	1,819	156%
サービス収入 他	82	116	58	67	117%
セグメント収益	2,543	3,687	1,511	2,195	145%
セグメント費用	2,033	2,958	1,156	1,766	153%
持分法投資損益等	8	0	0	-	-
セグメント利益	518	729	355	430	121%

営業貸付金	14,964	17,187	16,091	17,962
投資有価証券	18,936	15,092	16,452	13,503
セグメント資産	34,628	32,916	33,254	32,091
ROA	0.96%	1.47%	1.43%	1.81%

セグメント別業績（6）海外

- セグメント利益：814億円 前年同期比 +299億円（+58%）為替影響+41億円
 - ✓ 米州のアセットマネジメント事業やロベコが増益
 - ✓ 航空機・船舶事業からの利益も伸長
- セグメント資産：26,305億円 前期末比 +1,763億円（+7%）為替影響+505億円
 - ✓ 航空機・船舶の資産残高が大幅に増加、米州で新規投資を実行



セグメント別業績（6）海外

(単位：億円)

	16.3期	17.3期	17.3期 上期	18.3期 上期	前年同期比
金融収益	750	813	379	466	123%
有価証券売却益および受取配当金	161	133	56	113	202%
オペレーティング・リース収益	920	885	435	573	132%
サービス収入	2,501	2,167	1,059	1,170	111%
セグメント収益	5,260	4,589	2,406	2,386	99%
セグメント費用	4,522	3,868	1,971	1,805	92%
持分法投資損益等	690	402	80	233	291%
うち非支配持分調整	-78	-23	-35	-20	-
セグメント利益	1,429	1,123	515	814	158%

ファイナンス・リース投資	3,510	3,577	3,114	3,747
営業貸付金	4,079	4,574	3,585	5,396
オペレーティング・リース投資	3,754	4,202	3,251	4,578
投資有価証券	3,832	4,659	3,553	4,237
関連会社投資	3,057	3,322	2,767	3,388
セグメント資産	22,847	24,542	20,515	26,305
ROA	4.26%	3.24%	3.25%	4.37%

■ 海外セグメント資産の内訳

(単位：億円)

地域別	16.3	17.3	16.9	17.9	前期末比
米州	7,872	8,793	7,030	8,962	102%
アジア・豪州	5,923	5,936	5,511	6,386	108%
中華圏	2,603	3,156	2,399	3,276	104%
中東・欧州	493	365	427	333	91%
□ベコ	3,409	3,173	3,015	3,576	113%
航空機・船舶	2,429	2,968	2,058	3,675	124%
その他	118	150	76	98	65%
合計	22,847	24,542	20,515	26,305	107%

ポートフォリオの3分類

ポートフォリオの3分類

		ファイナンス	事業				投資			
分類	主なリスク	クレジットリスク	運営リスク、事業リスク				マーケットリスク			
	資本負荷	低	中～高				高			
		国内	海外	環境・インフラ	金融サービス	メンテナンスサービス	その他	債権投資	現物投資	エクイティ投資
セグメント	法人金融サービス	リース 貸付金 ファイナンス					弥生			新規事業
	メンテナンスリース					自動車 レンタル				
	不動産			施設運営	REIT 投資顧問				不動産投資	
	事業投資			環境エネルギー コンサル				サービサー		PE投資 大京
	リテール	銀行 カードローン、保証				生命 (旧ハートフォード生命)				
	海外		リース 貸付金			アセットマネジメント フーリハン			債券投資	航空機 船舶

ポートフォリオの3分類 セグメント利益

(単位：億円)

3分類	サブカテゴリー	16.3期	17.3期	17.3期 上期	18.3期 上期	前年同期比
ファイナンス	国内	504	560	290	339	117%
	海外	323	414	181	152	84%
	小計	826	973	471	491	104%
事業	環境・インフラ	218	370	166	202	122%
	金融サービス	1,158	991	462	651	141%
	(うち、旧ハートフォード生命)	-29	43	-19	29	-
	メンテナンスサービス	429	398	197	204	104%
	その他	54	56	31	37	119%
	小計	1,858	1,816	855	1,094	128%
投資	債権投資	236	234	143	166	116%
	現物投資	362	616	344	481	140%
	エクイティ投資	519	570	327	266	81%
	小計	1,117	1,419	814	913	112%
セグメント利益合計		3,801	4,208	2,140	2,498	117%

ポートフォリオの3分類 セグメント資産

(単位：億円)

3分類	サブカテゴリー	16.3	17.3	16.9	17.9	前期末比
ファイナンス	国内	27,759	29,053	27,925	29,468	101%
	海外	8,683	9,013	8,010	9,711	108%
	小計	36,442	38,066	35,936	39,178	103%
事業	環境・インフラ	4,517	5,059	4,595	6,066	120%
	金融サービス	21,437	18,558	19,428	17,577	95%
	(うち、旧ハートフォード生命)	9,572	7,396	8,473	6,151	83%
	メンテナンスサービス	7,313	7,525	7,242	7,825	104%
	その他	1,046	1,027	1,036	1,017	99%
	小計	34,314	32,169	32,301	32,485	101%
投資	債権投資	5,238	5,291	4,367	5,004	95%
	現物投資	7,884	7,620	7,114	8,012	105%
	エクイティ投資	5,846	6,423	5,645	6,482	101%
	小計	18,969	19,334	17,126	19,498	101%
セグメント資産合計		89,724	89,569	85,362	91,162	102%

- ✓ 株主資本使用率※は、A格維持を前提とした範囲でコントロール
- ✓ 18.3期の株主資本使用率は85%程度を見込む

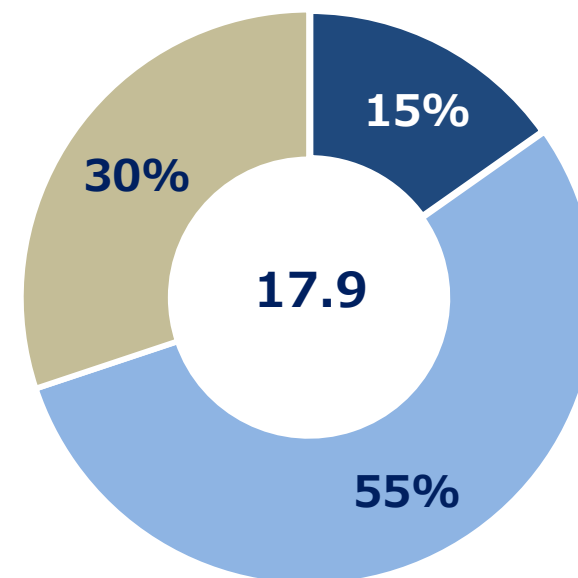
※オリックス社内基準に基づく株主資本使用率（=リスクキャピタル/株主資本）

株主資本使用率

(単位：億円)

	17.9
当社株主資本	26,107
使用資本	22,746
未使用資本	3,362
株主資本使用率	87.1%

使用資本の内訳



■ ファイナンス ■ 事業 ■ 投資

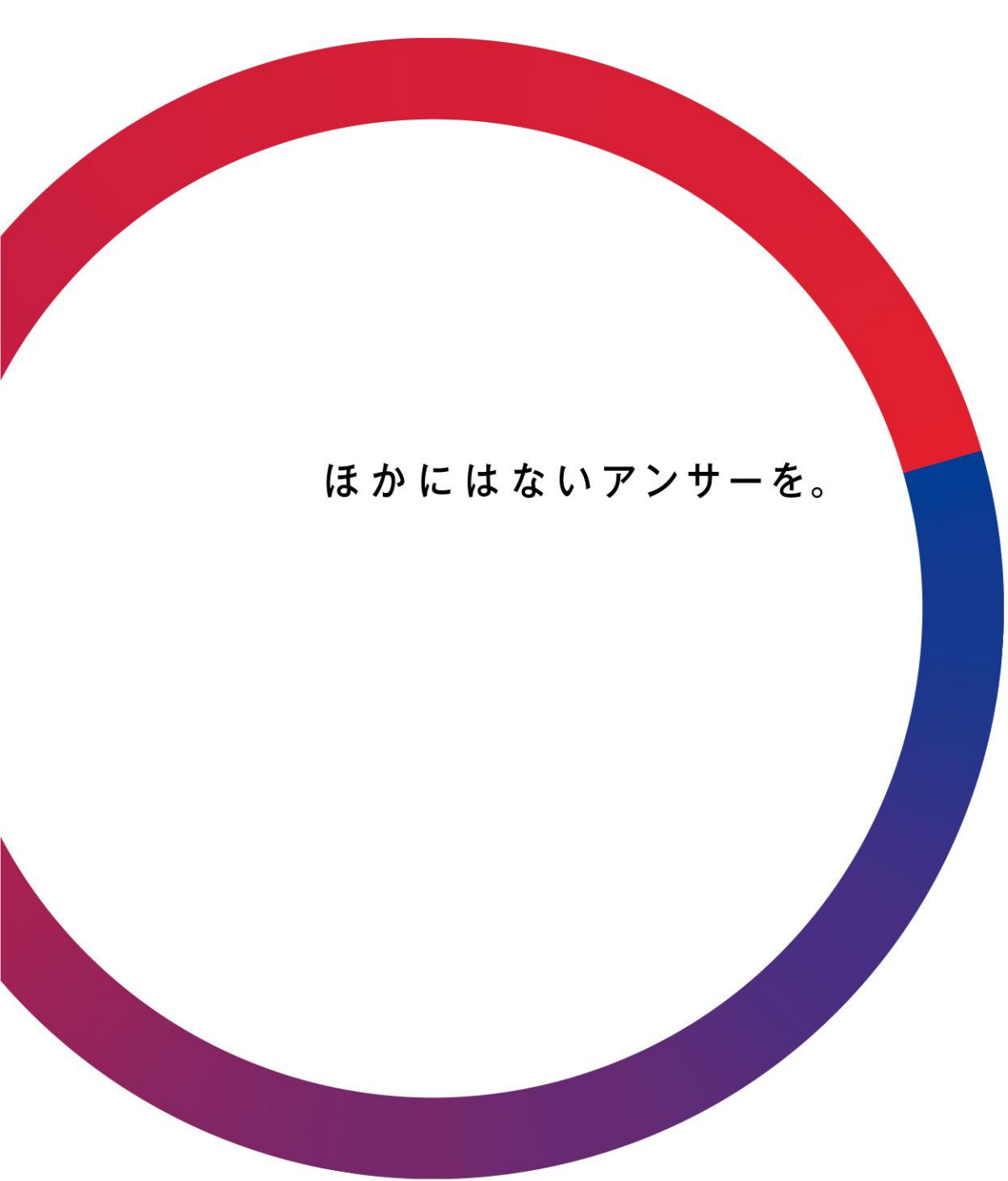
本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関係する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみにより全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

また、ハートフォード生命保険株式会社は、2015年7月1日にオリックス生命保険株式会社と合併し、現在はオリックス生命保険株式会社として引き続きお客さまのご契約をお守りしています。オリックス生命保険株式会社は、The Hartford Financial Services Group, Inc.、またはその関係法人の関連会社ではありません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。



ほかにはないアンサーを。

オリックスに関する追加情報については弊社ホームページをご参照いただくか、下記までご連絡下さい。

投資家情報

URL:<http://www.orix.co.jp/grp/ir/>

IR資料室

URL:<http://www.orix.co.jp/grp/ir/library/>

オリックス株式会社 経営計画部

〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1

TEL : 03-3435-3121

FAX : 03-3435-3154